■小豆の殺菌剤

区分	毒性	予防/治療	系統名	薬 剤 名	希釈倍率	水100ℓあたり 使用薬量	使用時期 (収穫前日数)	回数 以内	適用病害虫名										防除上の注意事項		
									立 枯 病	褐 斑 細 菌 病	茎 腐 細 菌 病	菌 核 病	灰 色 か び 病	茎 疫 病	炭 そ 病	さ び 病	タ ネ バ エ				
種子 粉衣	各種 病害	劇	—	有機リン・ジチオカ ハメート ・抗生物質	粉衣用ペアーカスミンD	種子重量の 0.3~0.5%	種子60kg当たり 180~300g	は種前	1	●	●								●		
茎葉 散布	褐斑細菌病 6月中旬~	—	予 治	抗生物質・銅	カスミンボルドー	1000倍	100g	30日前	3		●	●								・アルカリ性薬剤・チオファネートメチル剤とは 混用しない。	
		—	予	銅	ドイツボルドーDF	500倍	200g	-	-		●	●								・高温時の散布は避ける	
	さび病	-	予	有機硫黄	グリーンペンコゼブ水和剤	400倍	250g	30日前	3									●			
	茎疫病 斑点細菌病	—	予 治	CAA・銅	フェスティバルC水和剤	600倍	166g	7日前	3		●	●			●						
		—	予	Qil	ランマンフロアブル	1000倍	100ml	7日前	3						●						
	菌核病 炭そ病 輪紋病 灰色かび病 開花始期~	—	予 治	MBC	トップジンM水和剤	700~1000倍	100~142g	14日前	4				●				●				・輪紋病に登録あり ・ボルドー液・無機銅剤との混用は避ける
		—	予 治	SDHI	ケンジャフロアブル	1500倍	66g	14日前	2				●	●							・耐性菌の出現を防ぐため、ローテーション防 除を行う。 ・予防的防除を心掛け、感染しやすい部分に 十分薬液がかかるように散布する。 ・高温時の散布には注意する。 ・水稲などの周辺作物への飛散に注意すること。
		—	予 治	ジカルボキシミド	スミレックス水和剤	1000~2000倍	50~100g	21日前	2				●	1,000 ●							
		—	予 治	イプフルフェキン	ミギワ10フロアブル	1000倍	100ml	7日前	3				●	●		●					
		—	予 治	MBC・N-フェニルカ ハメート	プライア水和剤	1000倍	100g	14日前	4				●	●		●					
		—	予 治	MBC・AP	ブロードワン顆粒水和剤	800~1000倍	100~125g	14日前	4				●	1,000 ●		1,000 ●					
		—	予 治	QoI	ファンタジスタ顆粒水和剤	2000倍	50g	7日前	3				●	●		●	●				
	—	予 治	SDHI	パレード20フロアブル	2000~4000倍	25~50g	前日	3				●	●								